

2011年 4月 5日
東日本旅客鉄道株式会社

東日本大震災による地上設備の被害と復旧状況について

3月11日に発生しました東日本大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、被害のため運転中止となっている線区を普段ご利用いただいているお客さまには、ご不便をお掛けし深くお詫び申し上げます。

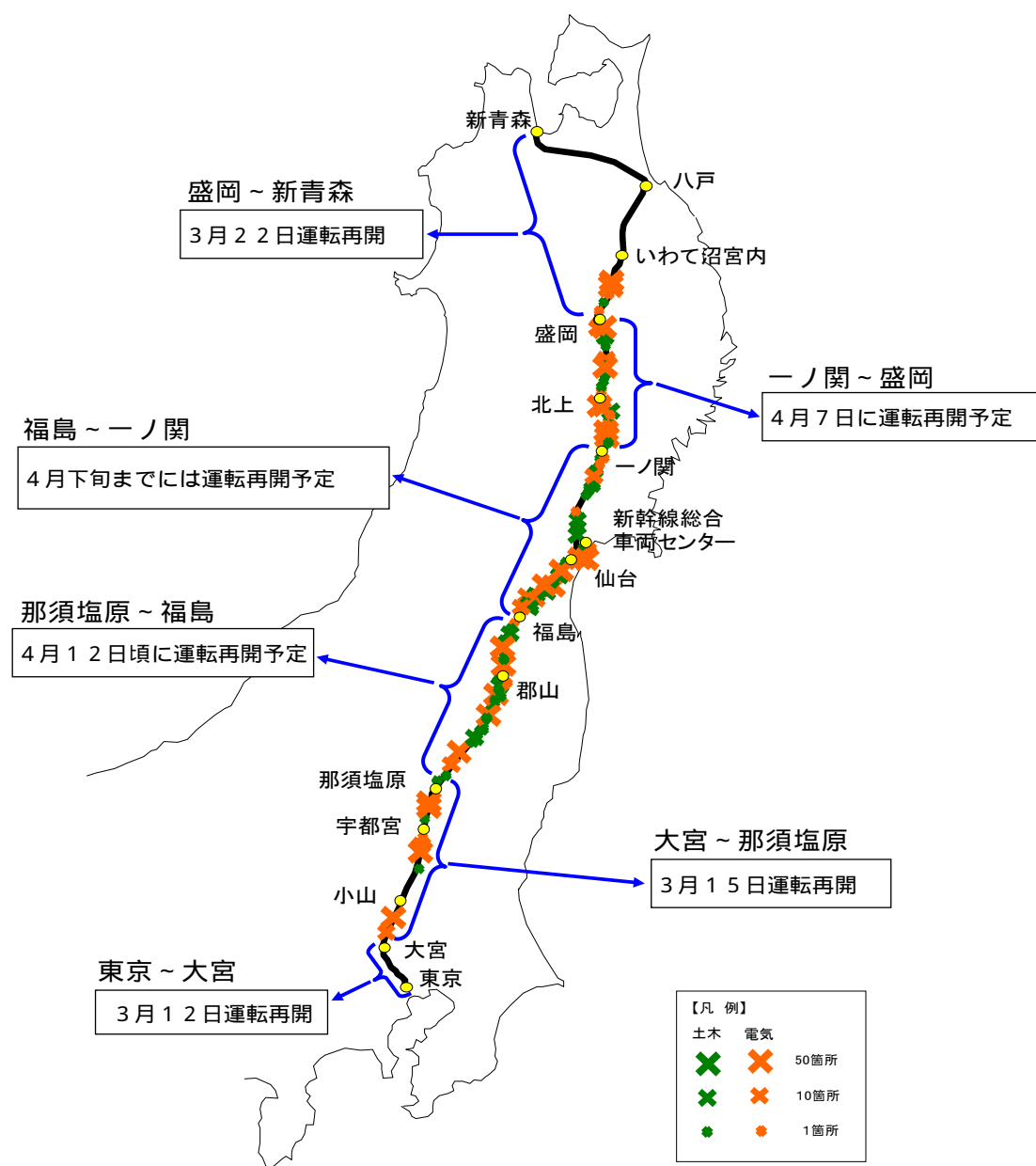
弊社といたしましては、被災地域の地上設備等について鋭意確認、点検を行い、グループおよび関係者の皆さま一体となり、一日でも早い復旧に向けて、全力で取り組んでおります。

このたび、地震による被害及び現時点における復旧状況を取りまとめたのでお知らせいたします。

主な被害と点検、復旧の状況

東北新幹線の地上設備の主な被害と復旧状況	・・・	別紙 1 - 1、1 - 2
在来線の地上設備の主な被害と復旧状況	・・・	別紙 2 - 1、2 - 2
津波を受けた7線区の主な被害と点検状況	・・・	別紙 3

東北新幹線の地上設備の主な被害と復旧状況(4月4日現在)



■ 主な被害と復旧状況

主な被害	箇所数	進捗率 ^(注)
電化柱の折損・傾斜・ひび割れ	約540箇所	約70%
架線の断線	約470箇所	約70%
高架橋柱等の損傷	約100箇所	100%
軌道の変位・損傷	約20箇所	100%
変電設備の故障	約10箇所	約85%
防音壁の落下・傾斜・剥離	約10箇所	100%
天井材等の破損・落下	5駅	約80%
橋桁のずれ	2箇所	100%
橋桁の支点部損傷	約30箇所	100%
トンネル内の軌道損傷	2箇所	100%
合計	約1200箇所	約75%

※高架橋、橋りょう、駅舎、トンネルの崩落はありません。

■ 区間毎の復旧状況

区間	箇所数	進捗率 ^(注)
大宮～那須塩原	約120箇所	3/15運転再開
那須塩原～福島	約270箇所	約95%
福島～新幹線総合車両センター(仙台付近)	約390箇所	約55%
新幹線総合車両センター(仙台付近)～一ノ関	約150箇所	約25%
一ノ関～盛岡	約230箇所	約98%
盛岡～新青森	約40箇所	3/22運転再開
合計	約1200箇所	約75%

(注)運転再開をするための復旧工事の進捗率であります。運転再開後に更に補強工事等を行うことがあります。

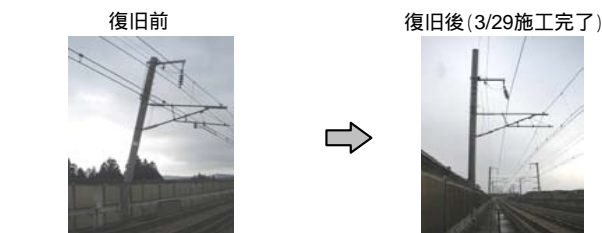
主な地上設備の復旧状況(新幹線)

新幹線総合車両センター～盛岡

1.【電化柱の折損(水沢江刺～北上間)】



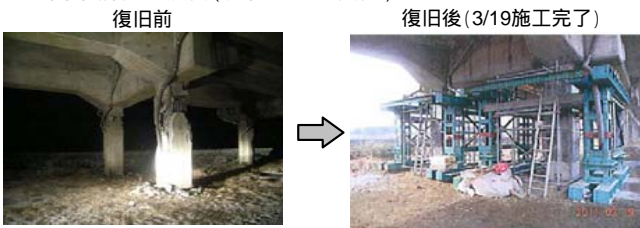
2.【電化柱の折損(北上付近)】



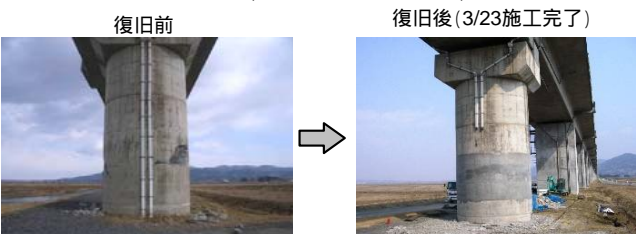
3.【高架橋柱の損傷(水沢江刺～北上間)】



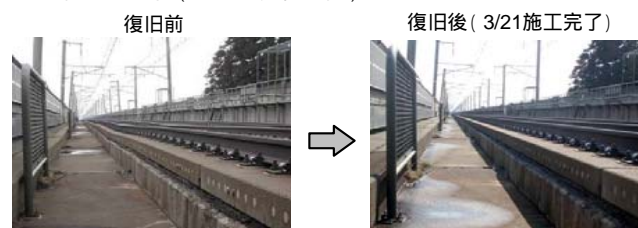
4.【高架橋柱の損傷(新花巻～盛岡間)】



5.【橋りょう橋脚の損傷(一ノ関～水沢江刺間)】

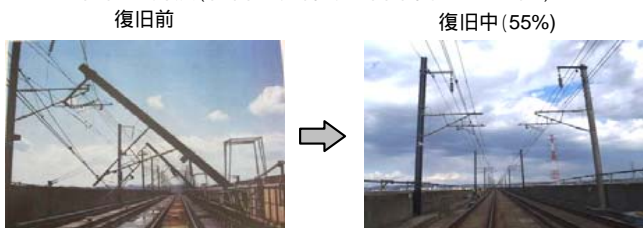


6.【軌道の変位(北上～新花巻間)】



福島～新幹線総合車両センター

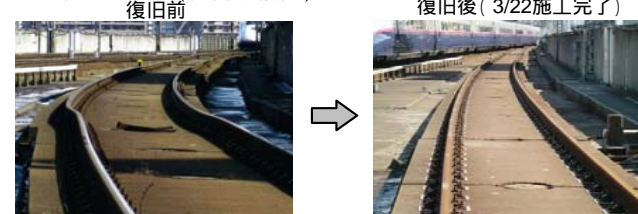
7.【電化柱の折損(仙台～新幹線総合車両センター間)】



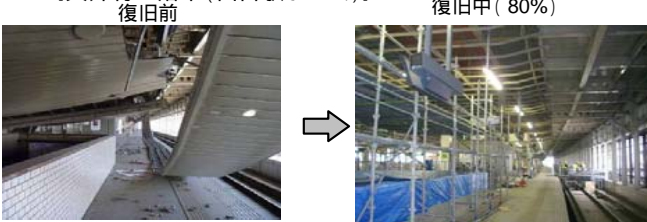
8.【高架橋柱の損傷(白石蔵王～仙台間)】



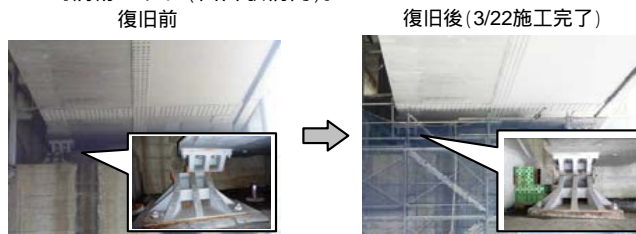
9.【軌道の変位(仙台駅構内)】



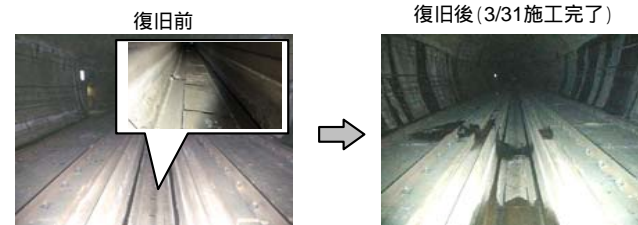
10.【天井材の落下(仙台駅ホーム)】



11.【橋桁のずれ(仙台駅構内)】



12.【トンネル内の軌道損傷(白石蔵王～仙台間 志賀トンネル)】

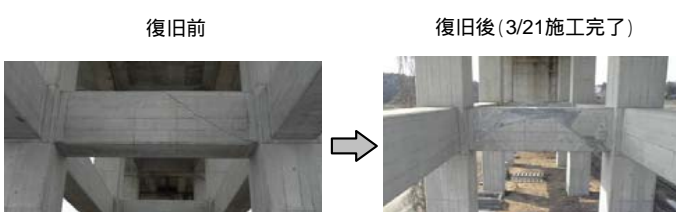


那須塩原～福島

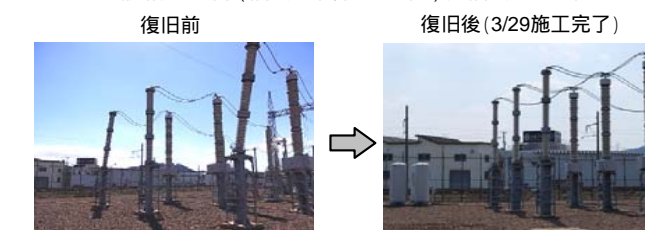
13.【高架橋柱の損傷(郡山駅事務所内)】



14.【高架橋中層梁の損傷(郡山～福島間)】



15.【変電設備の故障(福島～白石蔵王間)新福島変電所】

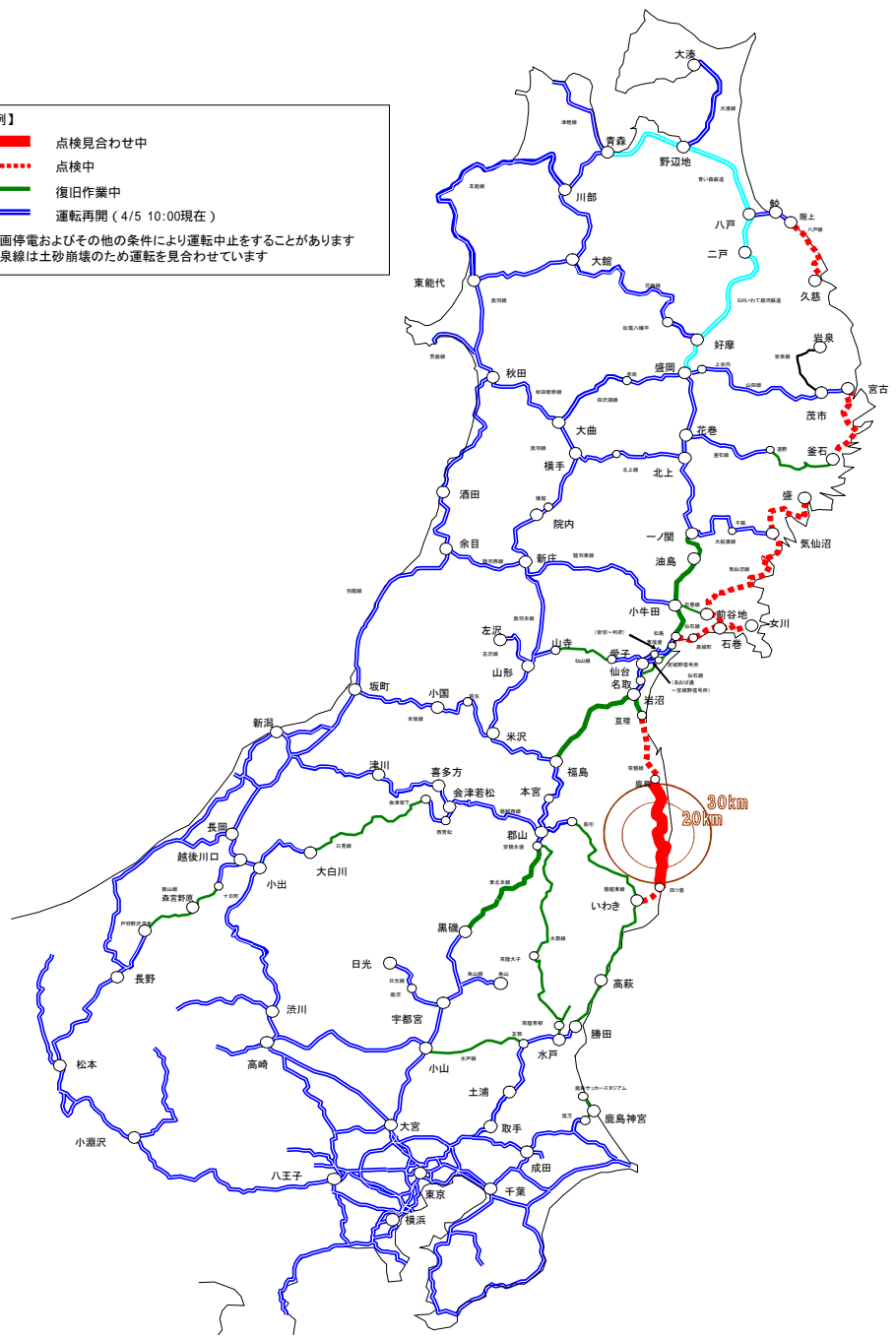


在来線の地上設備の主な被害と復旧状況(4月4日現在)

【凡例】

- 点検見合わせ中
- 点検中
- 復旧作業中
- 運転再開(4/5 10:00現在)

※計画停電およびその他の条件により運転中止をすることがあります
 ※岩泉線は土砂崩壊のため運転を見合わせています



■ 主な被害と復旧状況 計36線区 約2900km

主な被害	箇所数	進捗率 ^(注)
軌道変位	約2200箇所	約80%
電化柱の折損・傾斜・ひび割れ	約1150箇所	約90%
道床碎石流出	約220箇所	約70%
乗降場変状	約220箇所	約90%
盛土・切取等土工設備の変状	約170箇所	約80%
信号・通信設備の故障	約130区間	約75%
橋りょう・高架橋の損傷	約120箇所	約85%
駅舎の損傷	約80駅	約95%
トンネルの損傷	約30箇所	約80%
変電設備の故障	約30箇所	約80%
落石	約20箇所	100%
乗換こ線橋等停車場設備の損傷	約20箇所	100%
架線の断線	約10箇所	約60%
合計	約4400箇所	約80%

※津波を受けた7線区の被害は含んでおりません。

■ 主な線区の復旧状況

線名	箇所数	進捗率 ^(注)
東北本線	約1700箇所	約80%
常磐線 (いわき～亘理間を除く)	約1280箇所	約85%
水郡線	約210箇所	約55%
大船渡線 (気仙沼～盛間を除く)	約180箇所	4/1運転再開
水戸線	約150箇所	約95%
その他31線区	約900箇所	約80%
合計	約4400箇所	約80%

(注) 運転再開をするための復旧工事の進捗率であります。運転再開後に更に補強工事等を行うことがあります。

主な地上設備の復旧状況(在来線)

東北本線

ア.【盛土沈下(東北本線 新田～石越間)
復旧前



復旧中(50%)



イ.【橋桁支根部損傷(東北本線 福島～東福島間)
復旧前



復旧後(4/2施工完了)



ウ.【盛土流失(東北本線 梅ヶ沢～新田間)
復旧前



復旧中(60%)



エ.【盛土沈下(東北本線 泉崎～矢吹間)
復旧前



復旧中(80%)



オ.【土留壁倒壊・盛土流失(東北貨物線 長町～宮城野間)
復旧前



復旧中(70%)



カ.【切取崩壊(東北本線 豊原～白坂間)
復旧前



復旧後(4/1施工完了)



奥羽本線

キ.【土留壁傾斜・道床流失(奥羽本線 庭坂～赤岩間)
復旧前



復旧後(3/25施工完了)



仙山線

ク.【盛土流失(仙山線 作並～八ツ森間)
復旧前



復旧中(65%)



常磐線

ケ.【盛土沈下(常磐線 水戸～勝田間)
復旧前



復旧後(3/23施工完了)



コ.【ホーム擁壁倒壊(常磐線 常陸多賀駅)
復旧前



復旧後(4/1施工完了)



鹿島線

サ.【橋桁のずれ(鹿島線 延方～鹿島神宮間)
復旧前



復旧中(50%)



飯山線

シ.【切取崩壊(飯山線 足滝～越後田中間)
復旧前



復旧中(10%)



ス.【盛土流失(飯山線 横倉～森宮野原間)
復旧前



復旧中(10%)



津波を受けた7線区の主な被害と点検状況(4月4日現在)



A【橋けた流失】
しゆくのへ りくちゆうやぎ
 (八戸線 宿戸～陸中八木)



B【線路流失】
しゆくのへ りくちゆうやぎ
 (八戸線 宿戸～陸中八木)



C【線路流失】
そけい つがるいし
 (山田線 磯鶏～津軽石)



D【橋けた流失】
りくちゆうやまだ おりかさ
 (山田線 陸中山田～織笠)



E【線路流失】
ほそら
 (大船渡線 細浦構内)



F【線路流失】
りくぜんやはぎ たけこま
 (大船渡線 陸前矢作～竹駒)



H【橋けた流失】
りくぜんこいずみ もとよし
 (気仙沼線 陸前小泉～本吉)



I【線路流失】
おながわ
 (石巻線 女川構内)



K【橋けた流失】
しんち さかもと
 (常磐線 新地～坂元)



L【線路流失】
しんち
 (常磐線 新地構内)



J【道床流失】
のびる
 (仙石線 野蒜構内)



点検状況 (今後点検の進捗等により箇所数は増加します。)

線名	区間	延長	駅舎				線路		合計
			点検率	点検駅数	流失駅数	その他被害駅数	点検率	被害箇所数	
八戸線	階上～久慈	約37km	100%	12駅	0駅	2駅	100%	約20箇所	約20箇所
山田線	宮古～釜石	約55km	100%	13駅	4駅	4駅	約95%	約70箇所	約80箇所
大船渡線	気仙沼～盛	約44km	100%	12駅	6駅	1駅	約95%	約60箇所	約70箇所
気仙沼線	前谷地※～気仙沼※	約73km	100%	21駅	9駅	3駅	約85%	約240箇所	約250箇所
石巻線	前谷地～女川	約32km	100%	11駅	1駅	3駅	約95%	約70箇所	約70箇所
仙石線	東塩釜～石巻※	約34km	100%	16駅	0駅	8駅	約95%	約380箇所	約390箇所
常磐線	いわき～亘理※※	約50km	100%	13駅	3駅	4駅	約85%	約790箇所	約800箇所
合計		約325km	100%	※※※98駅	23駅	25駅	約90%	約1630箇所	約1680箇所

※駅構内を含んでおりません。
 ※※福島第一原発の半径30km以内(四ツ倉～鹿島間:駅舎13駅(富岡駅を除く)、線路約75km)は点検を見合わせています。
 ※※※98駅のほかに、点検を見合わせている駅は13駅です。
 13駅:久ノ浜、末統、広野、木戸、竜田、夜ノ森、大野、双葉、浪江、桃内、小高、磐城太田、原ノ町

これまで確認した主な被害 (今後点検の進捗等により箇所数は増加します。)

主な被害	被害箇所数
津波による駅舎流失	23駅
津波による線路流失・埋没	65箇所(延長約60km)
津波による橋けた流失・埋没	101箇所
軌道変位	約210箇所
電化柱の折損・傾斜・ひび割れ	約950箇所
道床碎石流出	約80箇所
乗降場変状	約40箇所
盛土・切取等土工設備の変状	約50箇所
信号・通信設備の故障	約80区間
橋りょう・高架橋の損傷	約30箇所
駅舎の損傷	25駅
変電設備の故障	4箇所
乗換二線橋等停車場設備の損傷	約15箇所
落石	1箇所
架線の断線	約10箇所
合計	約1680箇所